

平成 28 年度 高等教育研究部活動報告

*アンダーラインは活動報告を示す。

1. 出版・広報活動

【1】 ニュースレターの編集発行

- ・ 105 号：2016 年 4 月 30 日 ・ 106 号：2016 年 8 月 31 日
- ・ 107 号：2016 年 12 月 28 日

【2】 高等教育ジャーナル～高等教育と生涯学習～

- ・ 第 24 号：2017 年 3 月 31 日発行予定

2. 研究員の活動

- ・ 宇田川拓雄（北海道教育大学函館校教授）
研究テーマ：スコラリーティーチャーと高度専門職員の研究
ジャーナル 24 号に報告掲載予定。
- ・ 布施泉（情報基盤センター・教授）
岡部成玄（北海道大学・名誉教授）
研究テーマ：高等教育の一般情報教育における教材と教育手法についての研究
ジャーナル 24 号に報告掲載予定。
- ・ 姫野 完治（教育学研究院），七戸 俊明（医学研究科消化 器外科），
木村 俊介（医学研究科解剖学講座 組織細胞学分野）
研究テーマ：入学者選抜におけるコンピテンシーに関する研究
ジャーナル 24 号に報告掲載予定。
- ・ Lee, Heewon（ソウル国立大学准教授）
研究テーマ：北海道大学とソウル国立大学学生の学習過程の比較分析
ジャーナル 24 号に報告掲載予定。

3. 研究活動

【1】 教育支援

(1) FD, SD 関連（※印の研修は高等教育研修センター主催か共催）

- ・ 全学教育 TA 研修会 4 月 5 日（火）：235 名参加 ※
- ・（文系教員向け）クリッカーの使い方入門研修 5 月 26 日（木）：6 名参加 ※
- ・ 第 29 回北海道大学教育ワークショップ 6 月 17 日（金）～18 日（土）：21 名参加 ※
- ・ 講演 学習方略～Active Learning 入門～日胆地区（胆振・日高地域）看護教員研修会（苫小牧） 8 月 9 日 ※
- ・ IDE 北海道地区大学セミナー「IR の衝撃」企画と司会など 8 月 29 日，30 日
- ・ PFF Workshop 2016(2nd) 9 月 5 日（月）～12 日（月）：10 名参加
- ・ 国際シンポジウム「学生と共に創る教育の質保証～SA, TA, PFF などのこれから～」 9 月 8 日（木）：50 名参加 ※
- ・ 第 30 回北海道大学教育ワークショップ 9 月 13 日（火）～14 日（水）：27 名参加 ※
- ・ Higher Education Academy 訪問調査：英国ヨーク 9 月 19～23 日
- ・ 平成 28 年度北海道地区 FD・SD 推進協議会総会 10 月 18（火）～19 日（水）：50 名参加
- ・ 第 31 回北海道大学教育ワークショップ 11 月 18 日（金）～19 日（土）：16 名参加 ※
- ・ 講演 質の高い大学院教育を創造する～北海道大学大学院における FD の実践から学ぶ FD 教育セミナー（札幌医科大学保健医療学部）（12 月 12 日） ※
- ・ 北海道大学における TF 制度 龍谷大学文学部 FD 12 月 21 日 ※
- ・ 平成 28 年度第 2 回北海道大学 TF 研修会 2 月 14 日（予定） ※
- ・ TF 振り返り研修会 3 月 1 日（予定） ※
- ・ 新渡戸スクールFD 3 月 2 日（予定）
- ・ 講演「北海道大学における授業英語化サポートプログラム」（帯広畜産大学）3 月 3 日（予定） ※

- ・講演「Active Learning 入門」（上川宗谷地区看護教員研修会）3月17日（予定）

※ジャーナル 24 号に「ワークショップ」 「Higher Education Academy」 についての報告掲載予定。

（2）入学者選抜関連

- 1) コンピテンシーに基づく新入試の開発
 - ・コンピテンシー設計と過去問分析
 - ・コンピテンシー関連の企業研修の企画（人間力診断・ブラインドサッカー・マインドフルネス・問題解決思考力強化・データ思考力強化）→FDセンターとの共催を検討
 - ・コンピテンシーサンプル問題の開発
 - ・教科書単語抽出
 - ・Web アドミッションシステムの準備
 - ・HP の開発準備
 - ・調査書の電子化・分析（約 2500 件）、新調査書のモデル作成
 - ・TGP 入試のデザイン検討
 - ・国際科学オリンピック調査
 - ・北大入試改革フォーラム開催の準備（5月22日予定）
 - ・入学者選抜における心理テスト導入に関する基礎的研究
- 2) 文部科学省委託研究：個別学力試験「国語」が測定する資質・能力の分析・評価手法に関する研究 3年間
選定機関 北海道大学
連携機関 東北大学、九州大学、長崎大学、名古屋工業大学、大学入試センター
9月より月二回の会議と分析作業
- 3) 国際総合入試を含めたグローバル人材獲得のための新しい入試に関する研究
 - ・国際入試会議および調査分析
 - ・ISP 入試会議
- 4) 入試広報活動に関する AC 支援とそれらに関する調査研究
進路相談
- 4-1 進路講演
旭川北高校 4月12日，獣医学部説明会，帯広柏葉 11月10日
Z会主催東日本難関大学合同説明会・相談会 2016（8月），札幌開成中等教育学校 PTA，掛川西高校 PTA（9月），駿台予備校札幌校（10月），代々木ゼミナール札幌校（11月），道新主催進学相談会（12月）
- 4-2 進路相談員
朝日新聞社主催全国国公立・有名私大相談会 2016（東京）
（横浜）7月31日，（博多）7月17日，（広島）7月18日
Z会主催（広島）8月28日、新潟
北大進学相談会（東京）8月20日，北大セミナー（函館）9月6日，7日，リクルート主催（仙台）
10月3日，北大進学相談会（名古屋・大阪）10月8日～9日，北大セミナー（旭川）（9月）
札幌月寒高校校内大学ガイダンス 12月1日
- 4-3 高校訪問
旭川東（4月），掛川西高校（9月），磐田南高校（9月），北見北斗高校（12月）
- 4-4 出前授業
立命館慶祥（5月），掛川西高校（9月），磐田南高校（9月），札幌旭丘高校（11月）
- 5) 高大連携授業聴講型公開講座
- 5-1 高校訪問

札幌旭丘高校 6月 27 日, 札幌北高校 6月 28 日, 札幌西高校 7月 7 日, 札幌南高校 6月 29 日, 藤女子高校 7月 6 日

5-2 オリエンテーション

第 1 回 9月 21 日, 第 2 回 9月 26 日

5-3 講座 (9月~2月)

参加校 2 校 (北, 藤女子), 参加者 18 名 (受講取り消し 7 名), 開講講座 14 講座

5-4 修了式

5-5 報告書の発行

6) 大学入試センター全国大学入学者選抜研究連絡協議会企画委員会

7) SSP (グローバルサイエンスキャンパス)

- ・平成 28 年度広報・選抜・運営などの業務 (6月~7月)
- ・JST ヒアリング 8月 (本学), 11月 8日 (JST)

SSH

サイエンスリンク 5月 26 日, 山形興譲館 SSH 運営指導委員会 6月 28 日, 2月 (予定), 立命館 SSH 運営指導委員会 5月 20 日, 12月 13 日, 佐倉高校 SSH 運営指導委員会 7月 10 日, 3月 22 日 予定, 釧路湖陵 SSH 運営指導委員会 6月 19 日, 2月 22 日 (予定)

SGH

札幌開成中等教育学校 SGH 連携協力者

8) その他

8-1 教員研修会

立命館慶祥評価に関する研修会 9月 11 日, 形興譲館評価に関する教員研修 5月 24 日, 山形興譲館授業設計に関する教員研修会 2月 22 日, 秋田市立教育研究所教員研修会 8月 20 日

8-2 講演

- ・生徒の意欲を引き出すには何をすべきか (神奈川県二宮市民ホール) 8月 4 日
- ・北海道高等学校理科部会生物教育研究会講師 (5月、月)

8-3 FD 協力

北大生態環境 TF 会議 (9 回), 北海道地区国立大学連携教育機構 FD (2 月)

- ・平成 28 年度 北海道大学入学試験調査報告書 (ラーサポと合同)
- ・平成 28 年度 北海道大学新入生アンケート調査報告書 (ラーサポと合同)

(3) 大学教育と人材育成のあり方・効果に関する研究と実践

1) 卒業生調査、学生調査、企業調査の総合的分析の実施

- ・平成 27 年度総長室事業推進経費によるプロジェクト研究「北大生のジェネリックスキルの把握と学習・生活状況、成績との関連に関する定量的研究」により PROG (コンピテンシー、リテラシーの定量的把握のための手法) とキャリア意識アンケート調査の結果をもとに学会における成果発表と高等教育ジャーナルでの報告予定

2) 学士及び大学院の各課程において修得すべき多様な能力の検討

- ・文部科学省委託事業「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業 (九州大学受託) に参画。1月 26 日 (木) ~28 日 (土) の国際カンファレンス「第三段階教育における職業教育と学位・資格のアジア型アプローチ」などにおいて報告。

3) 国内外におけるインターンシップの充実に向けた研究と実践

①全学インターンシップの実施

- ・全学インターンシップ説明会: 4月 18 日 (月)、20 日 (水) 425 名参加
- ・「インターンシップではじめる!! 就活準備ガイダンス»: 4月 27 日 (水)
- ・「インターンシップガイダンス»: 6月 6 日 (月)、20 日 (月)
- ・学生と企業等のマッチング: 派遣学生 222 名 (新渡戸カレッジ生を含む)
- ・事前研修: 7月 6 日 (水)、12 日 (火)、13 日 (水)、19 日 (火)、函館キャンパスは 7 月

20日(水)

- ・派遣学生個人面談(1人約10分、222名):7月21日(木)~8月5日(金)、函館キャンパス7月29日(金)

- ・インターンシップ成果発表共有会:10月28日(金)

- ・終了後のアンケート調査結果:将来のキャリア設計に「大いに役立つ」及び「役立つ」が96%、全体の満足度は「大いに満足」及び「満足」が93%

②経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップの実施

- ・平成28年度より経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップを①の全学インターンシップの特別プログラムとして実施し、野村證券2名、富士ゼロックス、三菱樹脂、三井住友銀行、出光興産、花王、JFEスチール各1名、8名の学生(1年生2名、2年生6名)を派遣。

- ・5月24日付け日本経済新聞1面トップに「長期インターン産学連携」「大学1年から就業体験」「花王や北大など17校・11社」と大きく報道。

- ・5月参加希望学生の募集(17名の応募)

- ・事前研修、個人面談は①と合同で実施

- ・11月28日(月)に成果報告会を開催(派遣学生、企業、次年度派遣希望学生の参加)

- ・29年度は10社14名の派遣予定

- ・同取組は高等教育ジャーナルにおいて報告予定

③海外インターンシップへの参画

- ・平成28年度より国際連携機構が中心となり試行する「海外インターンシップ」の実施に対して、検討WGメンバーとして参画

- ・28年度は4名の学生が参加。学生の選考、事前研修、受入企業の開拓等に対して協力。

4) 新渡戸カレッジ、現代日本学プログラムなどとの連携・協力を通じたインターンシッププログラムの開発

①海外インターンシップの検討(再掲)

②現代日本学プログラムにおけるインターンシップの実施(平成29年度以降)に向けた検討など

5) キャリア教育科目(キャリアデザイン、大学と社会)の充実

①特別講義「キャリアデザイン」の実施

②特別講義「大学と社会」の実施

- ・本学の卒業生10名による講義を実施

- ・来年度以降、新渡戸カレッジとの共同実施に向けて検討

(4) 地域社会と連携する大学づくり

1) 北海道大学公開講座(全学企画)の企画運営及びその将来像の調査研究

- ・平成28年度北海道大学公開講座(全学企画)「国のかたち」を案ずる時代の知恵

- (7月4日~7月25日に計8回開催、101名が受講)と、平成29年度同講座の企画

- ・北海道大学の中期目標や近未来戦略に即した公開講座(全学企画)の将来像に関する検討、公開講座と連携した全学教育授業(一般教育演習)の開発と実践

※ジャーナル24号に「全学型公開講座を活用した大学1年生向けの演習授業」についての報告掲載予定

2) 地域住民の生涯学習を支援するための学外諸機関との連携の推進

- ・地域社会と大学の連携のあり方に関する調査の一環として、第38回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会に参加(9月26日・27日、香川大学)

- ・地域住民による生涯学習への支援として、道生涯学習審議会委員や札幌市社会教育委員、札幌市生涯学習推進検討会議委員、さっぽろ市民カレッジ「ご近所先生」研修講師などを務めた。

【2】 教育評価 (IR ネットワーク推進室)

- ・ 学生調査アンケートの実施, 分析 (2017年3月にHPへ基礎集計結果を掲載予定)
- ・ 卒業生調査アンケートの実施, 分析 (2017年3月にHPへ基礎集計結果を掲載予定)
- ・ 講演「教学IRの組織的導入とカリキュラム改革」第66回東北・北海道地区大学高等等・共通教育研究会 (札幌) (2016年8月26日)
- ・ シンポジウム「北海道におけるIRの展開」 2016年度北海道地区IDE大学セミナー (8月30日)
- ・ 講演「教学IRから分かる学部教育の現状」第2回HUCIフォーラム「海外大学との英語による協働教育をどう進めるかー学内の好事例と今後の課題」(札幌) (12月1日)
- ・ IRネットワーク推進室 視察受入 (名古屋大学 12月8日)
- ・ 全学教育授業評価アンケートの分析, 報告 (ホームページで公開)
- ・ 大学院生アンケートの実施, 分析 (新渡戸スクールオフィスへの報告)
- ・ 認証評価に関する分析と資料の提供 (要望部局へ報告)
- ・ 新渡戸カレッジオフィスへの情報提供 (データ説明, 分析, 分析結果提供)
- ・ 総合IR室への情報提供 (データ説明, 分析, 分析結果提供)
- ・ 総長, 副学長への各種データの分析結果説明
- ・ ファクトブック編集への参加
- ・ 8大学連携事業 シンポジウム, 外部評価委員会開催 (2017年2月16日予定)

※ジャーナル24号に「IR結果の日韓比較」について報告掲載予定。

4. カリキュラム開発

【1】 全学教育

教養科目4コマ, 総合科目及び一般教育演習12コマ開講

【2】 大学院教育

理学院, 教育学院, 保健科学院, 環境科学院で開講

【3】 大学院共通授業科目

UCバークレーPFFセミナー

5. 学協会等の活動支援

【1】 IDE大学協会北海道支部の活動の支援 (研究集会8月29, 30日の企画, 報告書の編集等)

【2】 アドミッションセンターの支援

【3】 北海道地区FD・SD推進協議会の支援 (総会10月18, 19日の支援)

【4】 大学教育学会での課題研究 (アクティブラーニング), ワーキング (STEM教育) 支援

・ 現代のリベラルアーツとしての理数工系科目 (STEM) の開発と教育実践のために
大学教育学会 (大阪) ラウンドテーブル 司会 (6月12日)

・ 国際連携によるSTEMプロジェクト推進のための検討会 司会 関西国際大学 尼崎キャンパス (11月11日)

・ 現代のリベラルアーツとしての理数工系科目 (STEM) の開発と教育実践のために 大学教育学会課題研究集会 千葉大学 (12月11日)

6. スーパーグローバル等への対応

【1】 高等教育研修センターの支援

【2】 IR活動によるサポート (カレッジやスクールの評価), 総合IR室の企画支援

【3】 TF研修ならびに教育力養成講座 (PFF) によるTF養成

【4】 サテライト・スクールへの参加

【5】 国際入試導入への支援

【6】 未来型人材育成選抜機構 (仮称) の支援

7. 外部資金の獲得

- 【1】平成 24 年度採択 文部科学省大学間連携共同教育推進事業「教学評価体制（I R ネットワーク）による学士課程教育の質保証」、北大が 8 大学の代表校（代表 山口総長，担当 細川敏幸）：28 年度予算 3,042 万円
- 【2】平成 26 年度グローバルサイエンスキャンパス，「地球と生命を理解する開拓力の開発」代表 山口総長，担当 鈴木誠：28 年度予算 3,500 万円
- 【3】平成 28 年度機能強化経費「機能強化促進分」（教育研究活動）、「未来型人材育成選抜試験の開発」（代表 山口総長、担当 鈴木誠）：平成 28 年度予算 5,986 万円
- 【4】平成 28 年度大学入学者選抜改革推進委託事業、「個別学力試験「国語」が測定する資質・能力の分析・評価手法に関する研究～記述式問題を中心に～」（代表 山口総長、担当 鈴木誠）：平成 28 年度予算 3,700 万円